

国立大学法人九州大学における会計監査人候補者の選定について

国立大学法人九州大学

国立大学法人における会計監査人は、国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法（以下「準用通則法」といいます。）第40条により、文部科学大臣が選任することとされています。

この選任にあたっては国立大学法人が会計監査人候補者を選定することが必要とされています。

国立大学法人九州大学（以下「本学」といいます。）においても同法の適用を受けることから、平成28年度から平成33年度の会計監査人候補者の選定については、総合評価方式を採用して行いますので、本学の会計監査人に就任する希望をお持ちの監査法人又は公認会計士の方（以下「監査法人等」といいます。）は、別紙「企画書の記載事項」をご参照のうえ下記のとおり「企画書」を9部提出いただきますよう、よろしくお願いたします。

記

(1) 会計監査人の資格

- ・準用通則法第41条に規定する資格を有する者。
- ・会社法第337条第3項における欠格事由のないこと。
- ・公認会計士法及びその他諸法令に規定する特別の利害関係等のないこと。

(2) 会計監査人の任期等

候補者の選定は、平成28年度から平成33年度の複数年にわたる候補者の選定とします。ただし、毎年度文部科学大臣の選任を受ける必要があることから、契約期間は単年度契約となります。このため、任期は平成28年度の財務諸表について準用通則法第38条第1項に規定する文部科学大臣の承認の時までとなります。

平成29年度以降については、毎年度、候補者より前年度監査業務の実績報告書及び当該年度の企画書を提出いただき、本学においてその内容を確認し、適切であると認められた場合に限り、引き続き文部科学大臣の選任を求めるとします。

なお、選定された者が行政処分を受けるなど特段の事由が生じた場合は、選定の見直しの対象となります。

(3) 会計監査人の選定方法

監査法人等から提案された「企画書」に基づき、本学に設置した会計監査人候補者選定委員会において総合的に評価し、候補者の順位付けを行います。監査費用見積額については、平成28年度から平成33年度までの6年間の平均額をもって評価を行います。

また、候補者順位が上位の監査法人等に対して「企画書」についてのプレゼンテーションを行っていただく場合があります。その際は本学における監査業務を担当される予定の方からご説明いただきます。（日時、場所等は後日連絡します。）

(4) 「企画書」の提出期限

平成28年2月29日（月）17時必着

(5) 「企画書」の提出先

九州大学監査室 福岡市西区元岡744番地 椎木講堂3F

問合せ先	〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 九州大学監査室（林） Tel : 092-802-2183 Mail : nbkhosa@jimu.kyushu-u.ac.jp FAX : 092-802-2186
------	--

*応募される方は、質問等ございましたら遠慮なくお問い合わせください。

企画書の記載事項

- 1 監査法人等概要
 - (1) 名称、代表者氏名、所在地
 - (2) 出資金
 - (3) 平成26年度 業務収入（営業収益）
 - (4) 平成26年度 経常利益
 - (5) 人員（うち公会計部門対応者人員）
 - (6) 関与会社数
 - (7) 国立大学法人への監査業務実績

- 2 監査体制
 - (1) 監査要員（監査責任者、監査実務者、実務補助者）
 - ・氏名、資格、本学での監査及び指導の予定日数、監査経験（国立大学法人等での会計監査業務の実務年数等）
 - ・書式1にある内容を最低限記載すること。
 - ・次年度以降に変更が生じる場合や特記すべき事項がある場合はその旨記載すること。
 - (2) 実施体制
 - ・監査計画概要（平成28年度～平成33年度の年次計画）
 - ・監査チームの編成状況と支援体制（大学への指導も含む）
 - ・本学に対する担当事務所の組織体制（住所、連絡先、人員（うち公会計部門対応者人員）、迅速に支援できる体制）
 - (3) 品質管理体制
監査の品質管理体制

- 3 監査手法等
 - (1) 監査手法
 - (2) 監査の着眼点及び提案
 - (3) 監査における重点項目

- 4 監査費用等（平成28年度～平成33年度の年度ごとに提示すること。）
 - (1) 費用見積金額
 - ・本学の監査業務を行うために必要となる一切の経費を含めること。
 - (2) 監査予定日数（延べ人日数も記載）
 - (3) 見積費用の考え方
 - ・監査予定日数等に大幅な追加が生じたときの処理方法も記載すること。
（「原則無償」「1割以内は無償」「その他（内容）」のいずれかを記載。）
 - (4) 評価について
 - ・平成28年度から平成33年度までの6年間の平均額をもって評価を行います。

- 5 その他参考となる事項等

※企画書作成にあたっては、本記載事項の項目に合わせて作成してください。

※平成28年度から平成33年度に係る会計監査人候補者の選定を行うので、複数年度にわたる期間を通じた監査を考慮した提案を行ってください。

※貴社の概要を記載したパンフレット等を添付してください。

※本学に対して守秘することを要望される事項がある場合は当該事項を指定してください。

(1) 監査要員(監査責任者、監査実務者、実務補助者)

監査責任者

氏名	〇〇 〇〇	
資格	(例)公認会計士	
九州大学での監査及び指導の予定日数	(例)35日	
監査経験	大学・法人等名	経験年数
国立大学法人 (病院を有する大学を優先し書いてください。)	(例)〇〇大学	(例)4年
	(例)◇◇大学	(例)1年6ヵ月
	(例)△△大学	(例)1年
以上		
独立行政法人 (地方独立行政法人は含みません。)	(例)■ ■ 機構	(例)1年
	以上	
国立大学以外の大学 (病院を有する大学を優先し書いてください。)	(例)● ● 大学	(例)2年
	(例)▲ ▲ 大学	(例)1年
	以上	
その他	〇〇〇〇〇	

監査実務者

氏名	△△ △△	
資格	(例)公認会計士	
九州大学での監査及び指導の予定日数	(例)30日	
監査経験	大学・法人等名	経験年数
国立大学法人 (病院を有する大学を優先し書いてください。)	(例)〇〇大学	(例)3年
	(例)◇◇大学	(例)1年
独立行政法人 (地方独立行政法人は含みません。)	(例)■ ■ 機構	(例)3年
	以上	
国立大学以外の大学 (病院を有する大学を優先し書いてください。)	(例)● ● 大学	(例)2年
	(例)▲ ▲ 大学	(例)1年
	以上	
その他	〇〇〇〇〇	

監査実務者

氏 名	◇◇ ◇◇	
資 格	(例)公認会計士	
九州大学での監査及び指導の予定日数	(例)20 日	
監査経験	大学・法人等名	経験年数
国立大学法人 (病院を有する大学を優先し書いてください。)	(例)〇〇大学	(例)2年
	(例)◇◇大学	(例)1年
	以上	
独立行政法人 (地方独立行政法人は含みません。)	(例)なし	
国立大学以外の大学 (病院を有する大学を優先し書いてください。)	(例)なし	
その他	〇〇〇〇〇	

実務補助者

氏 名	□□ □□	
資 格	(例)公認会計士試験合格者	
九州大学での監査及び指導の予定日数	(例)10 日	
監査経験	大学・法人等名	経験年数
国立大学法人 (病院を有する大学を優先し書いてください。)	(例)なし	
独立行政法人 (地方独立行政法人は含みません。)	(例)■ ■ 機構	(例)1年
	以上	
国立大学以外の大学 (病院を有する大学を優先し書いてください。)	(例)なし	
その他	〇〇〇〇〇	

実務補助者

- ・
- ・
- ・
- ・